

入域観光客統計概況

—平成20年度分—

平成20年度の入域観光客数は前年度を0.7%(42,000人)上回る5,934,300人で、過去最高の記録となった。

また、そのうち外国人観光客数は前年度を25.5%(48,200人)上回る237,000人で、過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内 5,697,300 人 前年度比 △ 6,200 人 (△ 0.1 %)

外国 237,000 人 前年度比 + 48,200 人 (+ 25.5 %)

合計 5,934,300 人 前年同月比 + 42,000 人 (+ 0.7 %)

2. 月別入域状況

	平成20年度				(参考)平成19年度	
	総数	前年度比	(うち外国人)		総数	(うち外国人)
				前年度比		
4月	484,000	101.8%	(18,300)	225.9%	475,300	(8,100)
5月	456,900	108.7%	(25,100)	313.8%	420,400	(8,000)
6月	438,800	105.2%	(28,500)	303.2%	417,200	(9,400)
7月	525,400	110.0%	(32,300)	134.6%	477,600	(24,000)
8月	626,700	102.0%	(28,300)	143.7%	614,200	(19,700)
9月	535,000	101.2%	(24,300)	114.6%	528,400	(21,200)
10月	547,000	105.3%	(30,800)	98.1%	519,700	(31,400)
11月	485,500	99.8%	(18,200)	102.8%	486,300	(17,700)
12月	464,000	98.5%	(7,700)	68.8%	471,000	(11,200)
1月	420,300	96.7%	(8,300)	93.3%	434,700	(8,900)
2月	413,500	85.5%	(4,900)	30.2%	483,800	(16,200)
3月	537,200	95.3%	(10,300)	79.2%	563,700	(13,000)
年度計	5,934,300	100.7%	(237,000)	125.5%	5,892,300	(188,800)

3. 主な航路別・国籍別入域状況

(国内)

東京 2,799,000 人 前年度比 + 44,800 人 (+ 1.6 %) 構成比 49.1 %

関西方面 1,092,800 人 前年度比 △ 17,500 人 (△ 1.6 %) 構成比 19.2 %

福岡方面 672,900 人 前年度比 △ 4,300 人 (△ 0.6 %) 構成比 11.8 %

名古屋 529,300 人 前年度比 + 15,900 人 (+ 3.1 %) 構成比 9.3 %

(外国)

台湾 107,000 人 前年度比 + 26,000 人 (+ 32.1 %) 構成比 45.1 %

韓国 9,000 人 前年度比 △ 7,000 人 (△ 43.8 %) 構成比 3.8 %

中国 20,000 人 前年度比 + 12,000 人 (+ 150.0 %) 構成比 8.4 %

香港 31,000 人 前年度比 + 17,000 人 (+ 121.4 %) 構成比 13.1 %

※国籍別入域者数は、沖縄県が収集した情報に基づく推計値であり、千人単位で四捨五入している。

4. 平成20年度の概況

(総数)

平成20年10月までは好調を維持したが、世界的な景気悪化に伴い、旅行需要・旅行マインドが減少したことなどにより、11月からは5ヶ月連続で前年同月実績を下回った。

そのため、年度としての過去最高を更新したものの、平成20年度のビジットおきなわ計画の目標620万人には届かなかった。

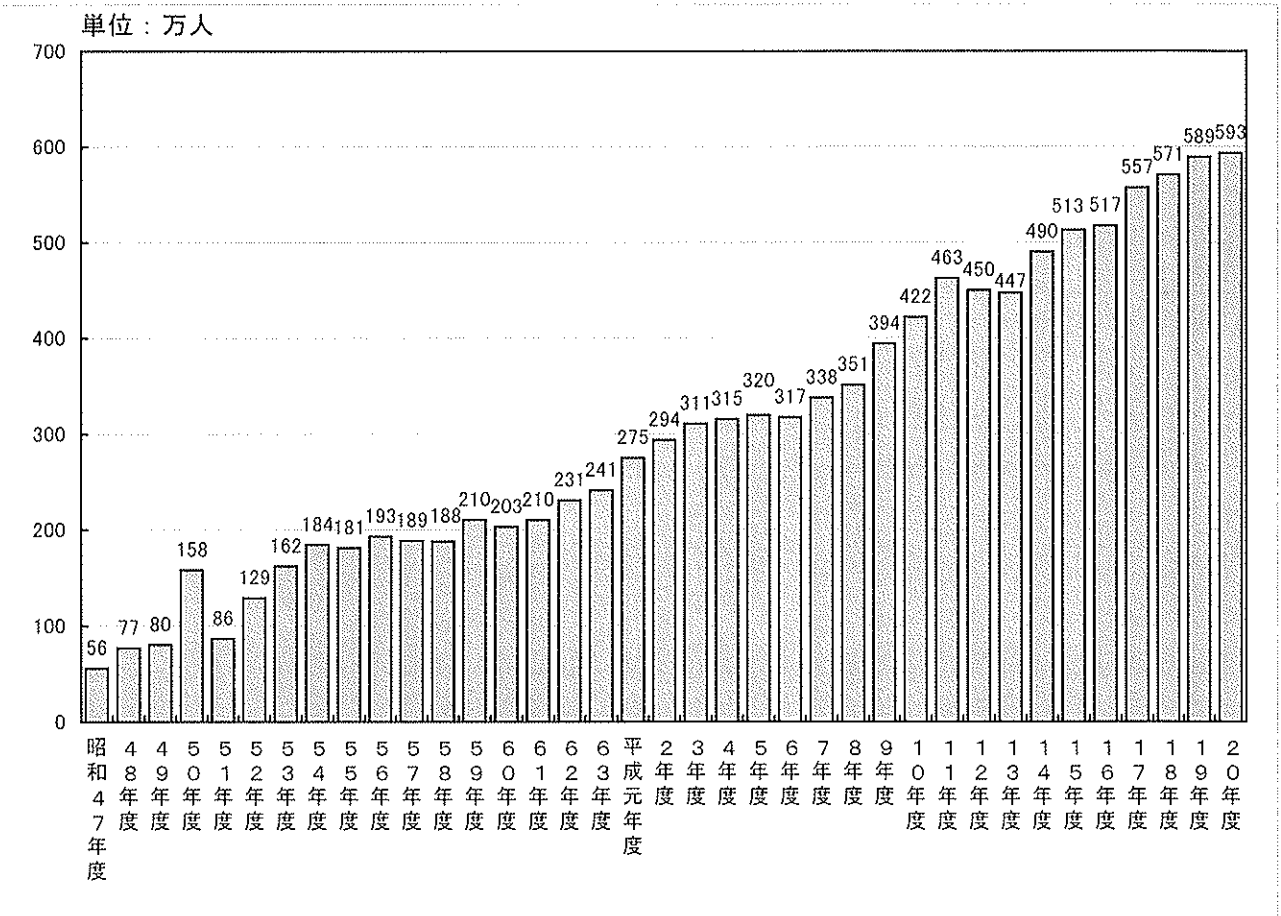
(国内客)

平成20年10月までは、燃油サーチャージの高騰を敬遠した海外旅行から沖縄旅行へのシフト、航空会社の提供座席数増加や新規宿泊施設開設に伴う需要喚起があったこと、リゾートウエディングが増加したことなどにより好調を維持したが、11月以降は、ビジネス旅行や団体旅行などの需要が減少したこと、航空会社の提供座席数が減少したことなどにより、伸び悩んだ。

(国外客)

平成20年度上半期は、新規航空路線開設により香港からの集客が好調だったこと、台湾からのスタークルーズの運航開始時期が前年より早かったことにより海路客が増加したことなどにより好調を維持したが、下半期は、世界的な景気悪化や円高傾向が続いた影響により、韓国、台湾などで訪日旅行を手控える傾向が顕著となったことから、伸び悩んだ。平成20年度のビジットおきなわ計画の目標22万人は、達成した。

5. 入域観光客数の推移(年度)



担当：観光企画課 三和(みわ)
 TEL 098-866-2763
 FAX 098-866-2767

平成20年4月入域観光客統計概況（平成20年5月21日公表）（数値データファイルを一番下に添付しています。）

入域観光客統計概況-平成20年4月分-

4月の入域観光客数は、484,000人。前年同月比は+1.8%（+8,700人）で、同月としては過去最高の記録となった。

1.国内外別入域状況

国内	465,700人	前年同月比	△1,500人	(△0.3%)
外国	18,300人	前年同月比	+10,200人	(+125.9%)
合計	484,000人	前年同月比	+8,700人	(+1.8%)

2.主要航路別入域状況

東京	219,300人	前年同月比	+8,400人	(+4%)	構成比45.3%
関西方面	96,400人	前年同月比	+1,700人	(+1.8%)	構成比19.9%
福岡方面	53,700人	前年同月比	△100人	(△0.2%)	構成比11.1%
名古屋	45,900人	前年同月比	+4,100人	(+9.8%)	構成比9.5%

3.概況と見通し

国内客については、4月下旬のゴールデンウィークの日並びが悪かったことが影響し、前年実績を下回った。

外国客については、クルーズ船の寄港回数が前年同月より増加したため、前年実績を大幅に上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、梅雨どきは個人客の動きが鈍いものの、7月以降は堅調に推移するものと見込まれる。

外国客については、クルーズ船の寄港が増加することに加え、香港との定期直行便が4月28日から増便されたため、順調に推移するものと見込まれる。

4.今後のトピックス

事項	内容
うたの日カーニバル2008	日程：平成20年6月28日（土曜日）開場14時00分/開演16時00分 会場：沖縄県西原マリンパーク多目的広場（沖縄県中頭郡西原町字東崎17番地） 内容：「うたの日コンサート」として親しまれてきたこのイベントは、2007年から「うたの日カーニバル」と名前を変えて無料で楽しめるようになりました。 呼びかけ人であるBEGINをはじめ、今年ばかりゆし58や県外からもさだまさしさんなど人気のミュージシャンが参加します。 観客数（見込み）：約5万人 問い合わせ先：うたの日実行委員会事務局 Tel 098-898-1331
MIYAKO ISLAND ROCK FESTIVAL 2008	日程：平成20年6月21日（土曜日）開場11時00分/開演13時00分 会場：宮古島コースタルリゾートヒララ・トゥリバー地区野外特設会場 出演：ELLEGARDEN/湘南乃風/ストレイテナー/TOKYO SKUNX/Hearts Grow/PUFFY/FUNKY MONKEY BABYS/MONGOL800/Rickie-G/DRAGON Live Painting 観客数（見込み）：約5,500人 問い合わせ先：インフォメーション Tel 0980-76-3035

担当：観光企画課 三和（みわ）

Tel 098-866-2763

Fax 098-866-2767

（財）沖縄観光コンベンションビューロー及び県各事務所のコメント（要旨）

1.国内

東京事務所（関東地区）

- 航空会社の増便があったことや、春休み後の旅行費用の安い期間の集客が好調だったことにより、前年実績を上回った。
- 5月前半は順調に集客したものの、5月後半から6月の梅雨どきは動きが鈍い。

大阪事務所（関西地区）

- 航空会社の増便や機材の大型化に伴い提供座席数が増加したことや、個人向けの企画商品が好調だったことなどにより、前年実績を上回った。
- 個人客の動きは遅めだが、修学旅行、インセンティブツアーを中心に団体旅行は前年並に集客している。

福岡案内所（福岡地区）

- ゴールデンウィークの日並びがよくなかったことなどにより、前年実績をわずかに下回った。
- ゴールデンウィーク明け以降はしばらく動きがよくないが、7月以降は順調に推移すると見込まれる。

名古屋情報センター（名古屋地区）

- 日本航空の増便に伴う提供座席数の増加や団体客が好調だったことにより、前年実績を上回った。
- 5月は団体客が好調だが、6月以降は個人客も復調し、堅調に推移するものと見込まれる。

2.海外

お問い合わせ

[文化観光スポーツ部観光政策課](#)（代表）

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟8階（南側）

電話番号：098-866-2763

FAX番号：098-866-2767

沖縄県庁 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 電話（代表）：098-866-2333

Copyright © Okinawa Prefectural Government. All Rights Reserved.

平成20年5月入域観光客統計概況（平成20年6月27日公表）（数値データファイルを一番下に添付しています。）

入域観光客統計概況-平成20年5月分-

5月の入域観光客数は、456,900人。前年同月比は+8.7%（+36,500人）で、同月としては過去最高の記録となった。

1.国内外別入域状況

国内	431800人	前年同月比	+19400人	(+4.7%)
外国	25100人	前年同月比	+17100人	(+213.8%)
合計	456900人	前年同月比	+36500人	(+8.7%)

2.主要航路別入域状況

東京	187,500人	前年同月比	+16,000人	(+9.3%)	構成比	41.0%
関西方面	98,900人	前年同月比	+2,300人	(+2.4%)	構成比	21.6%
福岡方面	52,000人	前年同月比	+4,600人	(+9.7%)	構成比	11.4%
名古屋	38,200人	前年同月比	+4,300人	(+12.7%)	構成比	8.4%

3.概況と見通し

国内客については、5月前半のゴールデンウィーク期間が好調だったことに加え、ゴールデンウィーク明けも団体旅行や企画商品、航空会社の割引運賃が好調だったことなどにより、前年実績を大きく上回った。

外国客については、クルーズ船の寄港があったため、前年実績を大幅に上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、6月は前年並み水準と見込まれるものの、夏場にかけては順調に推移すると見込まれる。

外国客については、原油高騰の影響などが懸念されるものの、クルーズ船の寄港が増加することや、香港からの送客増が見込まれるため、順調に推移するものと見込まれる。

4.今後のトピックス

事項	内容
第5回世界武道祭	日程：2008年7月20日（日曜日）～7月26日（土曜日） 会場：沖縄県立武道館 参加者数：世界53カ国より1,500名が参加予定。 主催：国際沖縄剛柔流空手道連盟
海洋博公園サマーフェスティバル2008	日程：2008年7月19日（土曜日） 会場：海洋博公園内エメラルドビーチ 観客数：約5万人を予定。 内容：夕日のスペシャルライブと県内最大数の花火が夏の夜を彩る。 お問合せ先：（財）海洋博覧会記念公園管理財団海洋博公園管理センター Tel 0980-48-2741
SAVE THE CORAL 2008 「海の日、サンゴの日」	日程：2008年7月21日（月曜日）午前10時～午後8時 会場：万国津梁館(名護市) 内容：沖縄のサンゴについて、見て、体感して、楽しみながら考えるフェスティバル。 料金：入場無料。ただし、サミット・ホールで開かれる夕方からのライブ「SAVE THE CORAL 2008 沖縄スペシャル・ライブ」は有料。料金、3000円（チケットは6月初旬から発売） お問合せ先：万国津梁館 Tel 0980-53-3155

担当：観光企画課 三和（みわ）

Tel 098-866-2763

Fax 098-866-2767

（財）沖縄観光コンベンションビューロー及び県各事務所のコメント（要旨）

1.国内

東京事務所（関東地区）

- 5月の連休明けに設定のあった企画商品が好調だったこと、札幌発の東京経由客が増加していることなどにより、前年実績を上回った。
- 6月は大手旅行会社各社とも集客がやや伸び悩んでいるものの、7月、8月の夏休み時期は、好調だった前年度並みに推移するものと思われる。

大阪事務所（関西地区）

- 個人向けの企画商品や修学旅行が好調だったことなどにより、前年実績を上回った。
- 6月は旅行会社や航空会社の予約状況はあまりよくないが、7月、8月の夏休み時期は、前年を大きく上回る予約状況となっている。

福岡案内所（福岡地区）

- ビジネス客が好調だったことなどにより、前年実績を上回った。
- 夏休み時期は、物価上昇などの影響による旅行マインド低下が懸念される一方、燃油サーチャージの影響により海外旅行から沖縄旅行への移行の可能性もある。

名古屋情報センター（名古屋地区）

- 日本航空の増便に伴う提供座席数の増加や団体客が好調だったことにより、前年実績を大きく上回った。
- 6月から夏場にかけて前年並み程度の予約状況の旅行会社が多いが、引き続き日本航空の増便効果が期待できるため、堅調に推移するものと見込まれる。

2. 海外

台北事務所（台湾）

- スタークルーズ社のクルーズ船定期運航により海路が好調だったことに加え、空路でも低価格商品を中心に売れ行きが好調だったことなどにより、前年実績を大きく上回る結果となった。
- 海路は、スタークルーズ社のクルーズ船の寄港回数増加により、前年を上回って推移するものと見込まれる。空路は、旅行会社の積極的なプロモーション展開などにより堅調に推移するものと見込まれる。

お問い合わせ

[文化観光スポーツ部観光政策課](#)（代表）

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟8階（南側）

電話番号：098-866-2763

FAX番号：098-866-2767

入域観光客統計概況

—平成20年6月分—

6月の入域観光客数は、438,800人。前年同月比は+5.2%(+21,600人)で、同月としては過去最高の記録となった。

4月から6月までの入域観光客数の累計は、1,379,700人。前年度同期比は+5.1%(+66,800人)で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内	410,300人	前年同月比	+	2,500人	(+0.6%)
外国	28,500人	前年同月比	+	19,100人	(+203.2%)
合計	438,800人	前年同月比	+	21,600人	(+5.2%)

2. 主要航路別入域状況

東京	200,200人	前年同月比	+	5,400人	(+2.8%)	構成比	45.6%
関西方面	78,800人	前年同月比	+	1,400人	(+1.8%)	構成比	18.0%
福岡方面	50,600人	前年同月比	+	700人	(+1.4%)	構成比	11.5%
名古屋	40,100人	前年同月比	+	1,100人	(+2.8%)	構成比	9.1%

3. 概況と見通し

国内客については、海外旅行需要の冷え込みを背景に、旅行会社や航空会社等が沖縄商品の販売を強化したことなどにより、前年実績を上回った。

外国客については、クルーズ船の寄港があったこと、香港からの定期便が好調だったことなどにより、前年実績を大幅に上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、原油高騰などの影響により長距離旅行の手控えが懸念されるものの、夏場にかけては堅調に推移するものと見込まれる。

外国客については、原油高騰などの影響が懸念されるものの、香港との定期便がデイリー化される予定であることや、クルーズ船の寄港回数増加などにより、順調に推移するものと見込まれる。

4. 今後のトピックス

事項	内容
第53回 沖縄全島 エイサーまつり	日程:2008年8月22日(金)~8月24日(日) 会場:沖縄市コザ運動公園 陸上競技場 観客数:約30万人 お問合せ先:沖縄全島エイサーまつり実行委員会 098-937-3986
平成20年度九州中学校体育大会	<ハンドボール> 日程:2008年8月5日(火)~8月7日(木) 会場:浦添市民体育館、沖縄県総合運動公園体育館 参加者数:576名(県外504名、県内72名)予定 <卓球> 日程:2008年8月6日(水)~8月8日(金) 会場:宜野湾市立体育館 参加者数:384名(県外336名、県内48名)予定 <相撲> 日程:2008年8月8日(金) 会場:名護市相撲場 参加者数:144名(県外105名、県内39名)予定

担当:観光企画課 三和(みわ)
TEL 098-866-2763
FAX 098-866-2767

(財)沖縄観光コンベンションビューロー及び県各事務所のコメント(要旨)

1. 国内

東京事務所(関東地区)

- 燃油サーチャージ高騰による海外旅行需要の冷え込みを背景に、旅行会社、航空会社等が積極的に沖縄商品の販促活動を展開した結果、前年実績を上回った。
- 消費者の安・近・短志向が強まっており、長距離旅行の手控えが懸念されるものの、7月、8月は前年度並みで推移する見込みである。また、離島地域への旅行は、7月から9月にかけて予約状況が好調となっている。

大阪事務所(関西地区)

- 予約の出足はよくなかったが、大手旅行社が沖縄キャンペーンを展開したことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 7月、8月は、家族旅行を中心に、前年の予約状況を大きく上回っている。

福岡案内所(福岡地区)

- 日本航空の機材大型化による提供座席数の増加や、梅雨の期間が短かったことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 7月、8月は、現時点では予約状況がよくない。物価上昇などの影響で、模様眺めの状態とみられる。

名古屋情報センター(名古屋地区)

- 日本航空の増便に伴う提供座席数の増加や個人旅行商品が好調だったことにより、前年同月実績を上回った。
- 長距離旅行の手控えが懸念されるが、引き続き日本航空の増便効果が期待できるため、堅調に推移するものと見込まれる。

2. 海外

台北事務所(台湾)

- スタークルーズ社のクルーズ船定期運航により海路が好調だったことに加え、空路でも低価格商品を中心に売れ行きが好調だったことなどにより、前年同月実績を大きく上回る結果となった。
- 空路は、航空料金の値上がりや物価上昇による消費者の旅行マインド低下などにより、7月の集客状況はよくない。海路は、スタークルーズ社のクルーズ船は前年より寄港回数が増加予定であるため、堅調に推移するものとみられる。

韓国事務所(韓国)

- 原油高騰や米国産牛肉輸入反対運動に端を発した国内情勢不安による旅行マインド低下などの影響があったものの、クラブメッドカビラへの航空チャーター便の販売が好調なことなどにより、前年同月並みの実績となった。
- 引き続き原油高騰などによる旅行マインド低下の影響が懸念されるが、クラブメッドカビラへの航空チャーター便の販売が好調なことなどから、堅調に推移するものと見込まれる。

上海事務所(中国本土)

- 上海発のツアー造成が活発であったことなどにより、前年実績を上回った。
- 燃油サーチャージの値上げや四川大地震による海外旅行自粛、北京オリンピック開催など中国人海外旅行にとって不確定要素はあるものの、引き続き活発に沖縄ツアー造成の動きがみられるため、堅調に推移するものと見込まれる。

香港事務所(香港)

- 香港エクスプレス航空の定期便就航3ヶ月目に入り、旅行商品造成が進み、定期便認知度が定着し、前年同月実績を大きく上回った。
- 7月から夏休みとなり香港での沖縄旅行需要が高まっている中、香港エクスプレス航空の定期便、ビバマカオ航空のチャーター便運航により大幅に送客力が増加しており、夏場は前年比倍増の勢い。特に、香港エクスプレス航空の定期便は、8月からのデイリー化に向けて調整が進められている。

入域観光客統計概況

－平成20年7月分－

7月の入域観光客数は、525,400人。前年同月比は+10.0%(+47,800人)で、同月としては過去最高の記録となった。
4月から7月までの入域観光客数の累計は、1,905,100人。前年度同期比は+6.4%(+114,600人)で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内	493,100人	前年同月比	+	39,500人	(+ 8.7%)
外国	32,300人	前年同月比	+	8,300人	(+ 34.6%)
合計	525,400人	前年同月比	+	47,800人	(+ 10.0%)

2. 主要航路別入域状況

東京	251,300人	前年同月比	+	17,700人	(+ 7.6%)	構成比	47.8%
関西方面	95,000人	前年同月比	+	5,100人	(+ 5.7%)	構成比	18.1%
福岡方面	55,300人	前年同月比	+	5,000人	(+ 9.9%)	構成比	10.5%
名古屋	43,600人	前年同月比	+	4,900人	(+ 12.7%)	構成比	8.3%

3. 概況と見通し

国内客については、台風の影響がなかったこと、燃油サーチャージ高騰などの影響による海外旅行から沖縄旅行へのシフトがあったこと、全日空の高松－那覇線が通年運航となったことなどにより、前年同月実績を上回った。

外国客については、香港からの集客が好調だったこと、クルーズ船の寄港回数が増加したことなどにより、前年同月実績を大幅に上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、夏休みはお盆期間を中心に好調に推移するものと見込まれる。9月以降は、現時点の予約状況はよくないものの、間際予約などの増加が期待される。

外国客については、原油高騰などの影響が懸念されるものの、香港からの集客が好調を維持すると見込まれることや、クルーズ船の寄港回数増加などにより、順調に推移するものと見込まれる。

4. 今後のトピックス

事項	内容
第23回 全島獅子舞フェスティバル	日程:2008年9月28日(日) 会場:うるま石川運動場(うるま市石川石崎1-2) 観客数:約5,000人 内容:沖縄県内の獅子舞が一堂に集まり、ダイナミックな演舞を披露する。 お問合せ先:うるま市教育委員会文化課文化振興係 098-978-7245
国際疲労学会	会期:2008年9月3日(水)~9月5日(金) 会場:万国津梁館(名護市) 参加者数:300名(うち海外7カ国、100名)予定 主催:国際疲労学会

担当:観光企画課 三和(みわ)
TEL 098-866-2763
FAX 098-866-2767

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 前年は台風4号の影響で航空機の運航に大きな影響が出たが、今年は台風の影響がほとんどなかったため、前年実績を上回った。
- お盆期間中の集客は前年同月実績を上回っている。8月の最終週は弱含み。9月の予約状況は出足が鈍いが、間際予約の増加に期待。10月の予約状況は出足好調。

関西

- 台風の影響がなかったこと及び航空会社、旅行会社の夏休みに向けた積極的な販促活動の結果、前年同月実績を上回った。
- 航空会社、旅行会社の予約状況は、8月は家族旅行を中心に順調に推移している。9月は現時点では若干よくないものの、間際予約の増加に期待。

福岡

- 日本航空の機材大型化による提供座席数の増加や、燃油サーチャージ高騰の影響で海外旅行から国内旅行へシフトする流れがあったことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 夏休みの家族旅行の予約状況は順調に推移している。9月は、旅行会社の予約状況は現時点ではよくないものの、インターネット利用などによる個人旅行は順調と見込まれる。

名古屋

- 台風の影響がなかったこと及び日本航空の増便に伴う提供座席数の増加などにより、前年同月実績を上回った。
- 8月、9月の旅行会社の予約状況はあまりよくないものの、引き続き日本航空の増便効果が期待できるため、堅調に推移するものと見込まれる。

2. 海外

台湾

- スタークルーズ社のクルーズ船寄港回数が前年より増加したことや、クラブメッドのチャーター便があったことなどにより、前年同月実績を大きく上回った。
- 航空料金の値上がりや物価上昇などの影響で、消費者の旅行マインドは低下しているとみられるものの、個人旅行が好調に推移していることや、スタークルーズ社のクルーズ船寄港回数の増加により、堅調に推移するものとみられる。

韓国

- 原油高騰などマイナス要因があったものの、クラブメッドカビラへの航空チャーター便の販売が好調なことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 原油高騰や旅行商品値上げなどによる旅行マインド低下の影響が懸念されるが、クラブメッドカビラへの航空チャーター便の販売やスタークルーズ社のクルーズ販売が伸びていることなどから、堅調に推移するものと見込まれる。

上海(中国本土)

- 夏場に入り活発にツアー送客が行われたことなどにより、前年実績を上回った。
- 引き続き活発に沖縄ツアー造成の動きがみられるため、堅調に推移するものと見込まれる。

香港

- 香港エクスプレス航空の定期便に加え、香港・マカオ発のチャーター便運航が上乗せ要因となった。また、定期便就航4ヶ月目に入り旅行商品も定着し、本格的な夏休みに入ったことで前年同月実績を大きく上回った。
- 8月は、夏休みの旅行需要が増加する中、香港エクスプレス航空のデイリー化が始まり、対前年同月比倍増の見込み。秋にかけても好調を維持するものと見込まれる。

入域観光客統計概況

—平成20年8月分—

8月の入域観光客数は、626,700人。前年同月比は+2.0%(+12,500人)であり、月間の入域観光客数としては過去最高の記録となった。
4月から8月までの入域観光客数の累計は、2,531,800人。前年度同期比は+5.3%(+127,100人)で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内	598,400人	前年同月比	+	3,900人	(+ 0.7%)
外国	28,300人	前年同月比	+	8,600人	(+ 43.7%)
合計	626,700人	前年同月比	+	12,500人	(+ 2.0%)

2. 主要航路別入域状況

東京	292,500人	前年同月比	+	3,600人	(+ 1.2%)	構成比	46.7%
関西方面	125,600人	前年同月比	△	2,300人	(△ 1.8%)	構成比	20.0%
福岡方面	68,000人	前年同月比	△	1,000人	(△ 1.4%)	構成比	10.9%
名古屋	51,200人	前年同月比	△	2,000人	(△ 3.8%)	構成比	8.2%

3. 概況と見通し

国内客については、台風の影響がなかったこと、全日空の高松—那覇線が通年運航となったことなどにより、前年同月実績を上回った。

外国客については、香港からの集客が好調だったこと、クルーズ船の寄港回数が増加したことなどにより、前年同月実績を大幅に上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、おおむね予約状況が好調となっていることから、堅調に推移するものと見込まれる。

外国客については、原油高騰などの影響が懸念されるものの、香港からの集客が好調を維持すると見込まれることや、クルーズ船の寄港回数増加などにより、順調に推移するものと見込まれる。

4. 今後のトピックス

事項	内容
第38回那覇まつり (那覇大綱挽)	日程:2008年10月11日(土)~10月13日(月) ※那覇大綱挽は10月12日(日) 会場:国道58号線久茂地交差点、国際通り、奥武山公園 来場者数:763,000人予定 内容:メインイベント「那覇大綱挽」は、1600年代に始まったといわれる歴史ある大綱挽で、沖縄のメイン道路である国道58号でおこなわれます。市民だけでなく、多くの観光客も参加し約1万5,000人が綱を挽きます。終了後は、無病息災のお守りといわれる枝綱を持ち帰ることができます。 お問合せ先:那覇市経済観光部観光課 098-862-3276
琉球の祭典2008	日程:2008年10月24日(金)~10月26日(日) 会場:那覇新都心公園、奥武山公園陸上競技場 来場者数:25,000名(うち県外3,000名)予定 内容:今年で8回目を迎える「全島旗頭フェスティバル」。男達が高さ7m以上、重さ40~50kgもある旗を振りかざし、沖縄一の旗頭を競って勇壮に舞います。また、沖縄伝統芸能の他、高知のよさこい踊りなど全国の伝統芸能を披露。出演者総勢3,000名という壮大な芸能の祭典です。 お問合せ先:琉球の祭典事務局 098-859-4122

担当:観光企画課 三和(みわ)

TEL 098-866-2763

FAX 098-866-2767

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 天候が安定していたことに加え、燃油サーチャージ高騰の影響で海外旅行から国内旅行へシフトする流れがあったとみられることなどにより、前年同月実績を上回った。
- 9月は台風13号の影響があったものの、前年並みを維持する見通し。10月から12月にかけては、修学旅行などもあり、予約状況は好調。

関西

- 8月の前半は順調に推移していたが、後半は若年層の動きが若干よくなかったため、前年同月実績を下回った。
- 10月から12月は修学旅行、一般団体の予約状況がよく、順調に推移するものと見込まれる。

福岡

- 物価上昇等の影響で、夏休み旅行を近隣でのレジャーに振り替えるファミリー層が増えたとみられることなどにより、前年同月実績を下回った。
- 9月は、連休、飛び石連休と2週連続台風の影響があった。10月、11月は、グループ、団体旅行は減少傾向だが、個人客は前年並みに推移している。

名古屋

- 8月は、団体旅行の減少や物価上昇の影響により、前年同月実績を下回った。
- 9月から10月にかけては、日本航空の増便効果もあり、堅調に推移するものと見込まれる。

2. 海外

台湾

- 燃油サーチャージや航空料金の値上げなどにより、台湾消費者の旅行マインドは低下しているが、スタークルーズ社のクルーズ船寄港回数が前年より増加したことや、クラブメッドのチャーター便があったことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 9月、10月は、好調な個人旅行に加え、団体旅行も大型のインセンティブツアーが入るなど回復基調にあるため、堅調に推移するものとみられる。

韓国

- 原油高騰、為替高などの影響で韓国の海外旅行客数は減少傾向にあるが、沖縄への送客においては、家族連れをはじめ個人旅行需要が着実に定着してきており、ほぼ前年並みの実績となった。
- 9月までは送客は伸びないと見込まれるが、10月26日からアジアナ航空が週3往復から週5往復に増便を予定していることから、ゴルフ客などの増加が期待できる。

上海(中国本土)

- 活発にツアー送客が行われたことなどにより、前年実績を上回った。
- 9月中旬の中秋節(9/13~15)、下旬の国慶節大型連休(9/29~10/5)などがあるため、海外旅行需要の高まりが予想される。特に国慶節期間には、杭州からのチャーター便や上海からのツアーが予定されている。また、10月末頃には上海から大型の社員旅行の予定もあり、堅調に推移するものと見込まれる。

香港

- 本格的な夏休みに入り旅行需要が増加するなか、8月2日からデイリー化された香港エクスプレス航空の定期便に加え、香港・マカオ発のチャーター便運航も上乗せ要因となり、前年同月実績を大きく上回った。
- 9月以降も、チャーター便のみであった昨年同期より大幅増が見込まれており、好調に推移するものとみられる。

入域観光客統計概況

－平成20年9月分－

9月の入域観光客数は、535,000人。前年同月比は+1.2%(+6,600人)で、同月としては過去最高の記録となった。

4月から9月までの入域観光客数の累計は、3,066,800人。前年度同期比は+4.6%(+133,700人)で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内	510,700人	前年同月比	+	3,500人	(+0.7%)
外国	24,300人	前年同月比	+	3,100人	(+14.6%)
合計	535,000人	前年同月比	+	6,600人	(+1.2%)

2. 主要航路別入域状況

東京	261,700人	前年同月比	+	2,600人	(+1.0%)	構成比	48.9%
関西方面	106,200人	前年同月比	+	2,300人	(+2.2%)	構成比	19.9%
福岡方面	56,500人	前年同月比	△	3,100人	(△5.2%)	構成比	10.6%
名古屋	39,700人	前年同月比	+	800人	(+2.1%)	構成比	7.4%

3. 概況と見通し

国内客については、台風の影響を受ける期間が長かったものの、航空会社の増便・機材大型化により提供座席数が前年同月に比べ増加したことなどにより、前年同月実績を上回った。

外国客については、香港からの集客が好調だったことなどにより、前年同月実績を上回った。

今後の見通しとしては、国内客については、10月は堅調に推移する見込みとなっているが、11月以降は景気の後退、円高による海外旅行との競合などの影響が懸念される。

外国客については、クルーズ船の寄港予定が前年より少ないことに加え、世界的な景気減速、円高などの影響が懸念されるが、香港からの集客が引き続き好調を維持すると見込まれること、韓国との航空便が増便されることなどにより、堅調に推移するものとみられる。

4. 今後のトピックス

事項	内容
ツール・ド・おきなわ2008	<p>日程：2008年11月8日(土)～11月9日(日)</p> <p>昨年の参加者数：約3,000人(うち県外約2,000人)</p> <p>内容：沖縄のやんばる路を走り抜けるサイクルスポーツの祭典。1989年に第1回大会が開催され、2008年で20回目を迎える。</p> <p>大会では、沖縄本島330kmを1泊2日で走破する本島一周サイクリングをはじめ、国外招待チームやトップレーサーたちも参加する国際ロードレースUCI公認の男子チャンピオンレース200km、女子国際レース85km、2003年から新設された国際ジュニアレース、6種の市民レース、やんばるの離島体験コースなど、2日間に渡り多彩な種目が展開される。</p> <p>お問合せ先：NPO法人 ツール・ド・おきなわ協会 0980-54-3174</p>
第40回全国商工会議所女性会連合会 沖縄全国大会	<p>日程：2008年11月27日(木)～11月28日(金)</p> <p>会場：沖縄コンベンションセンター</p> <p>参加者数：3,000名(うち県外2,600名)予定</p> <p>主催：全国商工会議所女性会連合会・沖縄商工会議所女性会連合会</p>

担当：観光企画課 三和(みわ)
TEL 098-866-2763
FAX 098-866-2767

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 燃油サーチャージ高騰の影響で海外旅行から国内旅行へ一部シフトする流れがあったとみられることや、若年層の動きがよかったことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 10月は修学旅行の下支えもあり、好調に推移する見通し。しかし、11月以降は、景気後退の影響による国内旅行需要の減少などが懸念される。

関西

- 9月は、航空会社の提供座席数の増加による需要喚起があり、特に学生などのグループの動きがよかったことから、前年同月実績を上回った。
- 10月から12月は修学旅行、一般団体とも例年並みの予約状況となっている。グループ、個人客は様子見の感があるが、間際予約に期待。

福岡

- 台風13号、15号の影響を心配した旅行や出張のキャンセルがあったこと、航空会社の機材縮小があったことなどにより、前年同月実績を下回った。
- 今秋はグループ・団体客の動きがよくない。個人客は10月の出足がよくないものの、11月は前年並に推移するとみられる。

名古屋

- 台風13号、15号の影響による団体旅行の取り消しなどがあったものの、昨年同月比で航空会社の提供座席数が増加していることもあり、前年同月実績を上回った。
- 10月は堅調に推移するとみられるが、11月は現時点では動きが鈍い。

2. 海外

台湾

- 物価上昇や景気悪化による台湾消費者の旅行マインドの低下や、台風の影響でクルーズ船寄港回数が予定より少なかったことなどにより、前年同月実績を下回った。
- 秋にかけては大型インセンティブも複数予定されているが、台湾の消費者が全体的に消費を控える傾向となっており、また、スタークルーズが11月1日で今年の運航を終了するため、送客増は期待できない。

韓国

- 昨年同月の旧盆は最大10連休であったが今年は3連休であったこと、原油高騰、円高、景気悪化による海外旅行手控えなどにより、前年実績を下回った。
- 当面景気悪化などによる韓国旅行市場の冷え込みは続くものとみられるが、10月27日からアジア航空が週3往復から週5往復に増便したことから、ゴルフ客などの増加が期待できる。

上海(中国本土)

- 9月は、規模は大きくないものの上海発のツアーが3団体あった。
- 10月は、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号、コスタ・アレグラ号の寄港が予定されているほか、10月から11月にかけてチャーター便や上海発のインセンティブツアーなどの予定もあるため、好調に推移するものと見込まれる。

香港

- 香港エクスプレス航空の定期便に加え、マカオ発のチャーター便運航も上乗せ要因となり、香港発チャーター便のみの前年同月実績を大きく上回った。
- 10月以降も、香港発チャーター便のみであった昨年同期より大幅増が見込まれており、好調に推移するものと見込まれる。

入域観光客統計概況

－平成20年10月分－

10月の入域観光客数は、547,000人。前年同月比は+5.3%(+27,300人)で、同月としては過去最高の記録となった。

4月から10月までの入域観光客数の累計は、3,613,800人。前年度同期比は+4.7%(+161,000人)で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内	516,200人	前年同月比	+	27,900人	(+ 5.7%)
外国	30,800人	前年同月比	△	600人	(△ 1.9%)
合計	547,000人	前年同月比	+	27,300人	(+ 5.3%)

2. 主要航路別入域状況

東京	264,900人	前年同月比	+	19,700人	(+ 8.0%)	構成比	48.4%
関西方面	93,300人	前年同月比	+	7,800人	(+ 9.1%)	構成比	17.1%
福岡方面	57,200人	前年同月比	△	2,100人	(△ 3.5%)	構成比	10.5%
名古屋	45,800人	前年同月比	+	3,900人	(+ 9.3%)	構成比	8.4%

3. 概況と見通し

国内客については、昨年10月は台風の影響を受けたが今年は天候が安定していたこと、航空会社の割引運賃値下げなどにより10月中旬の3連休が好調だったこと、修学旅行が堅調であったことなどにより、前年同月実績を上回った。

外国客については、香港からの集客は引き続き好調だったが、クルーズ船の寄港回数が少なかったことなどにより、前年同月実績をやや下回った。

今後の見通しとしては、国内客については、11月、12月は堅調に推移するとみられるが、年明け以降は景気の後退、円高による海外旅行との競合などの影響が懸念される。

外国客についても、世界的な景気減速、円高などの影響が長期化する懸念があり、楽観できない。

4. 今後のトピックス

事項	内容
第40回全国商工会議所女性会連合会沖縄全国大会	開催期日: 11月27日(木)～28日(金) 会場: 沖縄コンベンションセンター 参加予定者数: 総数3,000人(県外2,600人、県内400人) 主催: 全国商工会議所女性会連合会、沖縄県商工会議所女性会連合会
第24回NAHAマラソン	開催日程: 12月7日(日) 9:00～スタート(雨天決行) 会場: スタート/ゴール: 奥武山陸上競技場(那覇市) 内容: 毎年約2万人のジョガーが参加する、日本を代表する市民マラソン。県外や外国人も多数参加する、沖縄を代表するスポーツイベントのひとつ。 お問い合わせ: NAHAマラソン協会事務局 電話番号 098-862-9902

担当: 観光企画課 三和(みわ)
TEL 098-866-2763
FAX 098-866-2767

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 比較的廉価な企画商品が好調だったこと、修学旅行がトップシーズンを迎え好調であったことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 11月から12月にかけては現時点では動きがよくないが、最終的には前年度並みで推移する見通し。全国的に国内旅行が苦戦する中、沖縄は検討していると言われていたが、景況感の悪化などにより年明け以降は楽観できない。

関西

- 10月は、修学旅行が順調だったこと、航空会社の提供座席数の増加による需要喚起があったことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 11月は個人旅行は減っているが、修学旅行、企業研修旅行、周遊旅行などが好調に推移している。年末年始については今回は期間が長いこと、前半、後半の選択の様子見の感がある。

福岡

- 景況感の悪化に伴いビジネス客が減少したこと、航空会社の機材縮小があったことなどにより、前年同月実績を下回った。
- 11月は個人旅行は前年並みだが、団体旅行、ビジネス客は減少傾向が続くとみられる。12月から1月にかけては、年末年始の9連休に期待しているが、現時点では例年より予約状況はよくない。

名古屋

- 比較的廉価な企画商品が好調だったこと、団体・職場旅行等が順調だったこと、昨年同月比で航空会社の提供座席数が増加していることなどから、前年同月実績を上回った。
- 11月は堅調に推移するとみられるが、景況感悪化に伴い、旅行需要の冷え込みが懸念される。

2. 海外

台湾

- 物価上昇や景気悪化、円高などによる台湾消費者の旅行マインド低下による影響を受けたものの、スタークルーズ社の台湾ー沖縄クルーズが堅調であったため、前年同月実績を上回った。
- 景気の悪化、円高の影響で訪日旅行は減少傾向となっており、スタークルーズが11月1日で今年の運航を終了したため、冬場は送客増は期待できない。

韓国

- 原油高騰、円高、景気悪化などの影響で海外旅行が手控えられたことにより、前年実績を下回った。
- 景気悪化などによる海外旅行市場の冷え込みは長期化する見込みであり、冬場のゴルフ需要も冷え込んでいる。

上海(中国本土)

- 10月は、上海発の複数のツアーがあったことに加え、杭州からのチャーター便もあったことなどにより、堅調に推移した。
- 11月は、インセンティブツアーの予定があるほか、クルーズ船の寄港予定もあることから、好調に推移する見通しである。世界的な景気減速等の影響は懸念されているが、訪日旅行については安・近・短のツアー先として拡大するとの意見もある。

香港

- 香港エクスプレス航空の定期便に加え、マカオ発のチャーター便運航も上乗せ要因となり、香港発チャーター便のみの前年同月実績を大きく上回った。
- 11月以降も香港発チャーター便のみであった前年同期と比較すると大幅に増加すると見込まれているが、景気悪化、円高などにより訪日旅行全体が低調となっているため、今後の動向に注意が必要となっている。

入域観光客統計概況

—平成20年11月分—

11月の入域観光客数は、485,500人。前年同月比は△0.2%(△800人)となったが、同月としては過去2番目の記録となった。

4月から11月までの入域観光客数の累計は、4,099,300人。前年度同期比は+4.1%(+160,200人)で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内	467,300人	前年同月比	△	1,300人	(△	0.3%)
外国	18,200人	前年同月比	+	500人	(+	2.8%)
合計	485,500人	前年同月比	△	800人	(△	0.2%)

2. 主要航路別入域状況

東京	229,600人	前年同月比	+	8,900人	(+	4.0%)	構成比	47.3%
関西方面	78,500人	前年同月比	△	2,600人	(△	3.2%)	構成比	16.2%
福岡方面	62,100人	前年同月比	+	1,800人	(+	3.0%)	構成比	12.8%
名古屋	44,500人	前年同月比	+	1,700人	(+	4.0%)	構成比	9.2%

3. 概況と見通し

国内客については、航空会社の減便などにより航空提供座席が減少したものの、前年同月は1回だった3連休が2回あったこと、航空会社の割引運賃の値下げなどにより利用率が向上したことなどから、微減ながら前年同月並の実績となった。

外国客については、世界的な景気悪化の影響が一部にあったとみられるものの、香港からの観光客が前年同月より大幅増となったことや大型クルーズ船の寄港があったことなどにより、前年同月実績を上回り、同月としては過去最高の記録となった。

今後の見通しとしては、国内客については景気悪化等の影響により、当面伸び悩み傾向で推移することが懸念される。特に、1月、2月の動きが弱いことから、注視が必要である。3月は、スカイマークの福岡ー沖縄線開設、日本航空、全日空の関西ー沖縄線増便など好材料がある。

外国客については、景気悪化、円高等の影響による市場の冷え込みや前年に比べクルーズ船の寄港予定が少ないことなどにより、12月から2月にかけては伸び悩むとみられる。3月は、クルーズ船の寄港予定が前年より多いため、増加の見通しである。

4. 今後のトピックス

事項	内容
沖縄花のカーニバル2009	期間:1月17日(土)~5月6日(水) 内容:Welcome Flowerキャンペーン、空港飾花などのほか、 【第47回名護桜まつり 1月31日(土)~2月1日(日) エイサーやステージでのイベントあり】 【第31回本部八重岳桜まつり 1月17日(土)~2月15日(日) 日本一早い桜祭り】 【第2回今帰仁グスク桜まつり 1月23日(金)~2月8日(日) 桜のライトアップが好評】 など43のイベントが併催される。
第112回 杜の賑い・沖縄	開催日:1月24日(土)、25日(日) 会場:沖縄コンベンションセンター(宜野湾市) 内容:四つ竹・エイサー・獅子舞など、伝統芸能や創作芸能が満載のステージ。沖縄での開催は26年連続(31回目)。県外から同ツアーへの申し込みが必要。 お問い合わせ先:JTB沖縄 電話番号 098-861-5539

担当:観光企画課 三和(みわ)
TEL 098-866-2763
FAX 098-866-2767

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 航空会社の割引運賃の値下げがあったことや、修学旅行が順調だったことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 12月は、現時点では前年より予約状況に勢いが無い。1月及び2月は、景気悪化を背景とした旅行市場の冷え込みにより、前年を下回る見通し。特に2月の集客状況が厳しくなっている。

関西

- 修学旅行は順調だったが、他の団体旅行やメディア系旅行商品、高価格商品の動きが悪く、前年同月実績を下回った。
- 12月から1月にかけて、例年より動きが悪い。年末年始もよくない。2月は、例年は団体旅行が動き始める時期だが、旅行会社の予約状況はよくない。

福岡

- 団体客、ビジネス客は減少したが、個人客が回復したため、前年同月実績を上回った。福岡発の路線は全体的に利用が低迷しているが、そのような中、沖縄路線は健闘している。
- 年末年始の動きはよくない。景気悪化の影響で、家族連れの出足がよくない。例年正月明けにある大型の団体客も、来春はほとんど見当たらない。12月より、1月、2月と動きが悪くなっていく印象がある。

名古屋

- メディア系商品や廉価商品が牽引して前年同月実績を上回る旅行会社があったこと、日本航空利用の団体客が伸びたことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 景気悪化の影響により、1月、2月は厳しい見通しの旅行会社等が多い。

2. 海外

台湾

- 400名規模の大型インセンティブツアーがあったものの、景気悪化や円高の影響を受け、その他の団体旅行、個人旅行の動きがよくなかった。また、スタークルーズの運航が少なかったこともあり、前年同月実績を下回った。
- 景気悪化、円高等による旅行マインド低下が引き続き懸念されるが、沖縄商品造成に力を入れる旅行会社が増えていることなど好材料もある。1月の旧正月休暇は9連休となるが、沖縄は他の遠距離地域より安価であることや、旅行会社が積極的に販売していることから、順調に推移すると見込まれる。

韓国

- 円高、景気悪化などの影響で海外旅行が手控えられたことなどにより、前年実績を下回った。
- 1月、2月は前年運航があったチャーター便の運航予定がないため、前年同月を下回る見通し。海開きのある4月頃から、富裕層、個人客の伸びに支えられ、前年度並み程度までは回復が期待される。

上海(中国本土)

- 上海の食品会社のインセンティブツアーが3回来県したことなどにより、前年同月実績を大きく上回った。
- 12月以降のツアー造成状況は、現時点ではよくない。大型インセンティブツアーの取り消しなど、景気悪化の影響が一部に出ている。

香港

- 香港エクスプレス航空の定期便に加え、マカオ発のチャーター便運航も上乗せ要因となり、香港発チャーター便のみの前年同月実績を上回った。
- 沖縄はビーチリゾートのイメージが強いことや、景気悪化、円高の影響もあり、10月下旬頃から旅行会社への申し込みは減少しているものの、12月、1月は前年同月より大幅増、2月は前年同月並みを維持の見通しとなっている。

入域観光客統計概況

－平成20年12月分－

12月の入域観光客数は、464,000人。前年同月比は△1.5%(△7,000人)となったが、同月としては過去2番目の記録となった。

4月から12月までの入域観光客数の累計は、4,563,300人。前年度同期比は+3.5%(+153,200人)で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内	456,300人	前年同月比	△	3,500人	(△ 0.8%)
外国	7,700人	前年同月比	△	3,500人	(△ 31.3%)
合計	464,000人	前年同月比	△	7,000人	(△ 1.5%)

2. 主要航路別入域状況

東京	230,400人	前年同月比	+	1,300人	(+ 0.6%)	構成比	49.7%
関西方面	79,100人	前年同月比	△	2,800人	(△ 3.4%)	構成比	17.0%
福岡方面	53,000人	前年同月比	△	2,200人	(△ 4.0%)	構成比	11.4%
名古屋	43,500人	前年同月比	+	2,500人	(+ 6.1%)	構成比	9.4%

3. 概況と見通し

国内客については、年末年始期間は堅調だったものの、航空会社の減便などにより航空提供座席数が減少したこと、景気悪化の影響で遠方への旅行手控えがあったとみられることなどから、前年同月実績を下回った。

外国客については、前年同月は1回あった大型クルーズ船の寄港が今年はなかったこと、世界的な景気悪化の影響等による海外旅行手控えがあったとみられることなどにより、前年同月実績を下回った。

今後の見通しとしては、国内客については景気悪化等の影響により1月、2月の動きが弱いですが、3月は、スカイマークの福岡－沖縄線開設、日本航空、全日空の関西－沖縄線増便、卒業旅行人気など好材料もあることから、回復の兆しがある。

外国客については、景気悪化、円高等の影響による市場の冷え込みや前年に比べクルーズ船の寄港予定が少ないことなどにより、1月、2月は伸び悩むものとみられる。3月は、クルーズ船の寄港予定が前年より多いことなどにより、増加するものとみられる。

4. 今後のトピックス

事項	内容
2009プロ野球春期キャンプ	2月初旬から3月初旬までの間、プロ野球1軍9球団(阪神タイガース、オリックス・バファローズ、中日ドラゴンズ、北海道日本ハムファイターズ、広島東洋カープ、千葉ロッテマリーンズ、東京ヤクルトスワローズ、東北楽天ゴールデンイーグルス、横浜ベイスターズ)、2軍6球団ほか、韓国プロ野球3球団も県内各地で春季キャンプを実施予定。
第17回 2009おきなわマラソン	開催日: 2月22日(日) 会場: 沖縄県総合運動公園陸上競技場(沖縄市泡瀬)スタート/フィニッシュ 参加者数: 昨年の大会は、2万2千人(うち県外3千人)が参加。※ランナー以外も含む。 お問い合わせ先: おきなわマラソン実行委員会事務局 電話番号 098-930-0088

担当: 観光企画課 三和(みわ)
TEL 098-866-2763
FAX 098-866-2767

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 景気悪化の影響が懸念されたが、12月まで旅行需要を落とさずにすんだことや、修学旅行が堅調だったことなどにより、前年同月実績を上回った。
- ビジネス需要が落ちていることなどにより、1月の集客状況はよくない。2月はさらに厳しい。旅行会社等がキャンペーンなどにより需要喚起に努めているが、現時点では先が読みづらい状況である。

関西

- 航空会社の提供座席数が前年同月より減少したこと、12月後半から年末年始にかけて高額商品などの動きがよくなかったことなどにより、前年同月実績を下回った。
- 2月は、企業が社員旅行や出張旅行を控える傾向が目立つ。3月は関西－沖縄路線の臨時便運航や、航空会社や大手旅行会社の沖縄キャンペーンなどもあることから、集客増を期待したい。

福岡

- 12月は景気悪化の影響による旅行手控えなどにより、前年同月実績を下回った。
- 1月から3月までの集客状況は現時点ではよくない。3月から就航予定のスカイマーク福岡－那覇線に期待したい。

名古屋

- ビジネス客は減少したとみられるものの、メディア系商品や個人旅行が伸びたことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 景気悪化の影響により、現時点では1月、2月は厳しい見通しの旅行会社等が多い。2月から就航予定のJTA名古屋－石垣線に期待したい。

2. 海外

台湾

- 景気悪化、円高などの影響により、団体・個人ともに動きのよくない状況が続いていることにより、前年同月実績を下回った。
- 景気悪化、円高などの影響で、台湾消費者の旅行マインドは低下しているが、旅行会社による大々的な沖縄キャンペーンが3月まで実施されているので、沖縄旅行の底上げにつながることを期待したい。

韓国

- 円高、景気悪化などの影響で海外旅行が手控えられたことなどにより、前年実績を下回った。
- 1月、2月は前年運航があったチャーター便の運航予定がないため、前年同月を下回る見通し。海開きのある4月頃から、富裕層、個人客の伸びに支えられ、前年度並み程度までは回復が期待される。

上海(中国本土)

- 12月は、前年同月実績を上回ったものの、上海－沖縄路線の搭乗率は低迷し、厳しい状況であった。
- 1月、2月は、1月下旬から2月下旬にかけて北京からのチャーター便が9便運航される予定であるほか、北京からソウル経由のツアーや上海からの団体旅行も複数予定されているため、好調に推移する見通しとなっている。

香港

- 香港エクスプレス航空の定期便に加え、マカオ発のチャーター便運航も上乗せ要因となり、香港発チャーター便のみの前年同月実績を上回った。
- 景気悪化、円高の影響により訪日旅行全体が低調だが、1月は前年同月より大幅増、2月、3月は前年同月並みを維持する見通しとなっている。

入域観光客統計概況

—平成21年1月分—

1月の入域観光客数は、420,300人。前年同月比は△3.3%(△14,400人)となった。4月から1月までの入域観光客数の累計は、4,983,600人。前年度同期比は+2.9%(+138,800人)で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内	412,000人	前年同月比	△	13,800人	(△	3.2%)
外国	8,300人	前年同月比	△	600人	(△	6.7%)
合計	420,300人	前年同月比	△	14,400人	(△	3.3%)

2. 主要航路別入域状況

東京	204,700人	前年同月比	△	3,600人	(△	1.7%)	構成比	48.7%
関西方面	73,800人	前年同月比	△	4,600人	(△	5.9%)	構成比	17.6%
福岡方面	49,600人	前年同月比	+	400人	(+	0.8%)	構成比	11.8%
名古屋	38,300人	前年同月比	△	3,200人	(△	7.7%)	構成比	9.1%

3. 概況と見通し

国内客については、航空会社の運休などにより航空提供座席数が減少したこと、景気悪化の影響でビジネス需要や団体旅行などが減少したことなどにより、前年同月実績を下回った。

外国客については、春節休暇があったことなどにより台湾、中国、香港からの観光客は増加したが、景気悪化やウオン安の影響により韓国からの観光客が大幅に減少したことにより、前年同月実績を下回った。

今後の見通しとしては、国内客については、引き続き景気悪化の影響を受け、当面は厳しい状況が続くものとみられる。

外国客については、景気悪化、円高等の影響による市場の冷え込みや前年に比べクルーズ船の寄港予定が少ないことなどにより、2月は落ち込むものとみられる。3月は、クルーズ船の寄港予定が前年より多いことなどにより、持ち直すものとみられる。

4. 今後のトピックス

事項	内容
沖縄国際映画祭2009	趣旨：“Laugh&Peace”をコンセプトに、映画・映像を通して万人のこころが通じ合う、新しい映画&映像祭の実現を目指す。 日程：3月19日(木)～22日(日) 会場：北谷町アメリカンビレッジ及び近郊 *ミハマ7プレックス+one・ザ・ビーチタワー沖縄・他北谷町施設等 内容：コンペティションのほか、招待作品の上映、関連イベントなど 主催：沖縄国際映画祭実行委員会
日本一早い海びらき	【八重山】底地ビーチ(石垣市川平) 開催日：3月20日(金) 内容：「初泳ぎの証」をプレゼント、ミス八重山発表など。 お問い合わせ先：石垣市観光協会 電話番号 0980-82-2809 【沖縄本島】あざまサンサンビーチ(南城市知念) 開催日：3月21日(土) 内容：ダンスコンテストや、国際ジョイアスロンも同時開催。 お問い合わせ先：南城市役所総務企画部観光・文化振興課 電話番号 098-947-1100

担当：観光企画課 三和(みわ)
TEL 098-866-2763
FAX 098-866-2767

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 景気悪化の影響を受け、企業の出張、招待・報奨旅行に加え、個人旅行も減少したとみられることなどにより、前年同月実績を下回った。
- 2月は、景気悪化などの影響に加え、昨年あった3連休が今年はないこと、昨年より1日少ないことなどにより、前年同月を大きく下回るとみられる。3月以降も予約状況は厳しく、春休みの集客もよくない。4月以降は、燃油サーチャージ引き下げにより、海外との競合が激化する懸念もある。

関西

- 航空会社の提供座席数が前年同月より減少したこと、景気悪化の影響などを受け、高額な旅行商品(周遊型コースなど)の販売が低下したことなどにより、前年同月実績を下回った。
- 2月は、団体旅行はよくない。旅行会社のキャンペーンなどにより、個人客の集客を図っている状況である。3月は関西ー沖縄路線の臨時便運航や、航空会社や大手旅行会社の沖縄キャンペーンなどにより、順調に動いている。4月以降は、動きがなく、先が読みづらい状況である。

福岡

- 年始はほぼ前年並で推移したが、その後はグループ客、団体客、ビジネス客は伸び悩んだ。個人客は比較的堅調だったため、全体では前年同月実績を上回った。
- 景気悪化の影響により、旅行の手控え傾向が続くとみられることから、当面は厳しい状況が続くものとみられる。

名古屋

- 急速な景気悪化の影響を受け、ビジネス需要などが減少したことなどにより、前年同月実績を下回った。
- 2月から就航したJTAの名古屋ー石垣線の利用は好調に推移しているが、景気悪化の影響を受け、全体では当面厳しい状況が続くものとみられる。

2. 海外

台湾

- 春節期間にあわせて、航空チャーター便や臨時便の運航があったことに加え、現地大手旅行会社が沖縄キャンペーンを展開していることなどにより、前年同月実績を上回った。
- 景気悪化、円高などの影響で、台湾消費者の旅行マインドは低下している。旅行商品の価格を抑えて販売しているが、売れ行きはよくないとのこと。

韓国

- 年始と春節の連休は、パッケージ商品や家族連れが好調だったことに加え、法人のインセンティブツアーの送客もあった。しかし、1月月間では、ウォン安、景気悪化などの影響による海外旅行の手控え、航空便数の減少などにより、前年実績を下回った。
- 2月は春休みがあり、家族連れなどの個人旅行は堅調なものの、旅行会社の商品販売は落ち込んでいる。3月は、さらに厳しい。円に対するウォン安傾向が続く中では、需要拡大は難しいものとみられる。

上海(中国本土)

- 春節期間及びその前後に、北京からのチャーター便や北京発ソウル経由のツアーがあったことに加え、上海からの団体ツアーの送客も活発だったことなどにより、前年同月実績を上回った。
- 2月は、引き続き北京からのチャーター便、北京発ソウル経由のツアーがあるため、堅調に推移するものと見込まれる。上海方面は、春節後はツアー造成などの動きが弱くなっているが、4月の海開き以降に本格的に動き出すものとみられる。

香港

- 冬場の需要減に加え、景気減速や円高の影響も出ている。しかし、香港エクスプレス航空の定期便運航による航空便数の増加により、香港発チャーター便のみの前年同月実績を上回った。
- 景気減速、円高の影響により訪日旅行全体が低調に推移しているが、2月から4月までは前年同月並みを維持する見通しとなっている。

入域観光客統計概況

—平成21年2月分—

2月の入域観光客数は、413,500人。前年同月比は△14.5%(△70,300人)となった。4月から2月までの入域観光客数の累計は、5,397,100人。前年度同期比は+1.3%(+68,500人)で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内	408,600人	前年同月比	△	59,000人	(△12.6%)
外国	4,900人	前年同月比	△	11,300人	(△69.8%)
合計	413,500人	前年同月比	△	70,300人	(△14.5%)

2. 主要航路別入域状況

東京	200,300人	前年同月比	△	27,400人	(△12.0%)	構成比	48.4%
関西方面	70,000人	前年同月比	△	15,700人	(△18.3%)	構成比	16.9%
福岡方面	51,600人	前年同月比	△	6,700人	(△11.5%)	構成比	12.5%
名古屋	44,500人	前年同月比	△	1,300人	(△2.8%)	構成比	10.8%

3. 概況と見通し

国内客については、景気悪化による旅行市場全体の冷え込みに加え、前年同月(うるう年)より日数が1日少なかったこと、前年あった3連休が今年はなかったこと、円高などにより海外旅行との競争があったことなどにより、前年同月実績を下回った。

外国客については、前年は2月にあった春節休暇が今年は1月にあったことの反動や、前年はあったクルーズ船の寄港が今年はなかったことなどにより、前年同月実績を下回った。

今後の見通しとしては、国内客については、引き続き景気悪化の影響を受け、当面は厳しい状況が続くものとみられる。

外国客については、3月は、クルーズ船の寄港予定が前年より多いことなどにより、持ち直すものとみられる。4月、5月は、景気悪化、円高による旅行需要の減少やクルーズ船の寄港が減少する見込みであることなどにより、厳しい状況が続くものとみられる。

4. 今後のトピックス

事項	内容
琉球海炎祭2009	日程:4月18日(土) 開場15:00 開始20:00 終了21:00 ※雨天決行。荒天時は翌日に順延。 会場:宜野湾海浜公園(宜野湾市真志喜4-2-1) 内容:4月に海辺で花火!?これぞ沖縄ならではの日本一早い夏のエンターテイメント! 澄んだ海と満点の星空をステージに、壮大な「花火イリュージョン」ショーが今年で6周年を迎え、さらにスケールアップして開催されます。 お問い合わせ先:琉球海炎祭実行委員会事務局 098-897-2764
トライアスロン (宮古・八重山)	【第25回 全日本トライアスロン宮古島大会】 日程:4月19日(日) お問い合わせ先:宮古島トライアスロン実行委員会 0980-73-1046 【石垣島トライアスロン大会2009】 日程:4月26日(日) お問い合わせ先:石垣島トライアスロン大会事務局 0980-73-1046

担当:観光企画課 三和(みわ)
TEL 098-866-2763
FAX 098-866-2767

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

○ 景気悪化による旅行市場の冷え込みに加え、前年同月(うるう年)より日数が1日少なかったこと、前年あった3連休が今年はなかったこと、円高などにより近場のアジア方面との競合があったことなどにより、前年同月実績を下回った。

○ 3月は、春休みの集客状況もよくなく、前年並を確保できるか微妙な情勢。

4月、5月は、メディア系の集客はますますだが、旅行パンフレットの集客は動きが弱い。海外格安商品との競合や団体旅行の取り消しなどもあることから、期待はできない。

関西

○ 前年同月(うるう年)より日数が1日少なかったこと、前年あった3連休が今年はなかったこと、団体旅行の取消しや企業の出張旅行の減少などにより、前年同月実績を下回った。

○ 3月は、団体旅行の取消しもあるが、卒業旅行など若年層の集客増に期待したい。

4月、5月は、ゴールデンウィークも含め、航空会社、旅行会社の予約状況は現時点ではよくない。

福岡

○ 団体・グループ客は大幅に減少しており、個人客も動きが鈍かった。ビジネス客は、企業の業績悪化に伴い、出張の回数、人数ともに大幅に減少した。これらの要因により、前年同月実績を下回った。

○ 3月から5月にかけては、燃油サーチャージ値下げや円高により海外旅行料金が大幅に安くなること、高速道路料金の値下げに伴い国内ドライブ旅行が増加することなどから、現時点では予約状況は前年を下回っている。

名古屋

○ 2月1日からの石垣直行便就航の記念商品はまずまずの売れ行きであったが、周遊型商品や定番旅行商品の落ち込みが大きかったことなどにより、前年同月実績を下回った。

○ 3月から5月にかけては、景気悪化の影響を受け旅行市場が冷え込んでいることに加え、海外旅行との競合激化もあることから、厳しい状況が続くものとみられる。

2. 海外

台湾

○ 前年は2月にあった春節休暇が今年は1月にあったことの反動、円高、景気の悪化などの要因が重なり、前年同月実績を下回った。

○ 景気悪化、円高などの影響で、台湾消費者の旅行マインドは低下しているが、シュノーケリングやサイクリング体験を盛り込んだ新たな沖縄ツアー商品の販売が開始されたこと、4月から航空会社及び大手旅行社による沖縄レンタカーパック商品が販売されることなどにより、若年層を中心とした個人旅行について、一定の集客が見込まれる。

韓国

○ 前年は2月にあった春節休暇が今年は1月にあったことの反動があったことに加え、景気の悪化やウオン安の影響により、家族連れ、ゴルフ客、インセンティブツアーなどが大幅に減少し、前年同月実績を下回った。

○ 3月は燃油サーチャージの値下げがあるが、日本は近距離であるため、大きなプラス要因とはならない見通し。4月以降も当面は需要拡大は厳しいと見込まれる。

上海(中国本土)

○ 北京からのチャーター便や北京発ソウル経由のツアーがあったことにより、空路客は好調だったものの、前年あったクルーズ船の寄港がなかったため、全体では前年同月実績を下回った。

○ 3月から4月は、春節期間の活発な送客は一段落するため大幅な増加はないと見込まれるが、燃油サーチャージの値下げが好材料となるとの見方もある。

香港

○ 香港エクスプレス航空の定期便が、冬場の需要減、景気減速、円高など複合的な要因により伸び悩んだことに加え、前年同月にあったクルーズ船の寄港がなかったことにより、前年同月実績を下回った。

○ 景気減速、円高の影響により訪日旅行全体が低調に推移している。4月は前年の航空便数が少なかった反動で倍増するが、3月、5月は前年同月並みで推移する見通しとなっている。

入域観光客統計概況

—平成21年3月分—

3月の入域観光客数は、537,200人。前年同月比は△4.7%(△26,500人)だった。

1. 国内外別入域状況

国内	526,900人	前年同月比	△23,800人	(△4.3%)
外国	10,300人	前年同月比	△2,700人	(△20.8%)
合計	537,200人	前年同月比	△26,500人	(△4.7%)

2. 主要航路別入域状況

東京	256,600人	前年同月比	△7,800人	(△3.0%)	構成比	47.8%
関西方面	97,200人	前年同月比	△10,100人	(△9.4%)	構成比	18.1%
福岡方面	63,300人	前年同月比	△1,600人	(△2.5%)	構成比	11.8%
名古屋	54,000人	前年同月比	△900人	(△1.6%)	構成比	10.1%

3. 概況と見通し

国内客については、沖縄国際映画祭の開催など好材料もあったが、景気悪化による旅行市場全体の冷え込みや航空会社の提供座席数が減少していることなどにより、前年同月実績を下回った。

外国客については、景気悪化による旅行市場の冷え込みや、大型クルーズ船の寄港が前年より少なかったことなどにより、前年同月実績を下回った。

今後の見通しとしては、国内客については、引き続き景気悪化の影響を受けるとみられることや海外旅行との競合が激化することなどにより厳しい状況が続くものとみられるが、ゴールデンウィークの予約状況が好調なことなど、回復の兆しも一部にみられる。

外国客については、空路は当面、景気悪化、円高による旅行需要の減少の影響を受けるとみられる。海路は、台湾からのスタークルーズの運航開始時期が、昨年3月末から今年は5月末になったことにより、4月、5月は減少するものの、6月は増加に転じるとみられる。

4. 今後のトピックス

事項	内容
第35回 那覇ハーリー	日程:5月3日(日)~5日(火) 会場:那覇新港埠頭(那覇市) 昨年の入場者数:約22万人 内容:ハーリーは、爬竜船競争で漁の安全と豊漁を祈願する沖縄の伝統行事。那覇ハーリーでは、そのほかにも体験乗船、ライブ、花火などのイベントも催されます。 お問い合わせ先:那覇ハーリー実行委員会 098-862-1442
第10回 ビーチバレー宮古島大会2009	日程:5月30日(土)、31日(日) ※雨天決行 会場:ウィンディまいばま(宮古島/宮古島市) 昨年の入場者数:6489人(うち、県外・海外客6148人) 内容:全国からビーチバレーチームが集まり、美しい白浜のビーチで熱い試合が繰り広げられます。 お問い合わせ先:ビーチバレー宮古島大会実行委員会 0980-75-3824

担当:観光企画課 三和(みわ)、宮良(みやら)
TEL 098-866-2763

各方面ごとの概況と見通し

1. 国内

東京

- 景気悪化による旅行市場の冷え込みなどのほか、燃油サーチャージの値下げや高速道路料金の値下げなど、競合旅行先の話題が大きく取り上げられた影響があったことなどから、前年同月実績を下回った。
- 現時点の予約状況は、一部の旅行会社を除き、4月、5月とも前年を下回っている。駆け込み需要を狙った追加商品も出されているが、集客効果は不透明な状況。全日空が5月8日より東京―那覇路線を増便するため、その効果に期待したい。

関西

- 旅行商品は例年より団体・卒業旅行などの集客が悪く、個人向けの廉価商品で支えている模様。航空会社の臨時便運航があったが、減便・機材縮小により提供座席数が減少していることもあり、大幅な伸びにつながらず、前年同月実績を下回った。
- 4月にはいって各旅行会社で店頭キャンペーンなどにより、夏に向けた集客に力を入れている。ゴールデンウィークは前半の2日から4日は好調。後半は前年よりよくない。修学旅行については、5月からシーズンにはいるが、前年並みを維持できる見通し。

福岡

- 個人商品はほぼ前年並みであったが団体旅行が不調であったことや、3月からスカイマークの福岡―那覇路線の開設があったものの全体では提供座席数が減少したことなどにより、前年同月実績を下回った。
- 4月から6月にかけては、海外旅行が好調なことや、高速道路料金の値下げに伴いドライブ旅行が増加するとみられることなどから、航空会社の予約状況は前年を下回っている。4月1日から新規に開設された全日空の福岡―石垣路線については、予約状況はまずまずとの出足となっている。

名古屋

- 景気悪化の影響や海外旅行へのシフトがあったとみられることなどにより、前年同月実績を下回った。
- 4月から6月にかけては、一部廉価商品の動きは鈍くないものの、景気悪化の影響を受け団体旅行を中心に需要が減少していること、海外旅行との競合もあるとみられることから、厳しい状況が続くものとみられる。

2. 海外

台湾

- 円高、景気の悪化などの要因に加え、前年は3月末だった台湾からのスタークルーズの運航開始時期が、今年は5月末にずれ込んだことなどにより、前年同月実績を下回った。
- シュノーケリングやサイクリング体験を盛り込んだ新たな沖縄ツアー商品の販売が開始されたこと、4月から航空会社及び大手旅行社による沖縄レンタカーパック商品が販売されることなどにより、送客数の落ち込みは回復傾向にあるが、本格的な回復までには時間を要するとみられる。

韓国

- 一部ツアーの取り消しがあったことなどにより、前年同月を下回る実績となったが、新しくスタートした旅行会社25社による連合パッケージ商品の売れ行きがよかったこと、個人旅行販売が伸びていることなど、富裕層を中心に動きが出てきている。
- 4月からは為替も安定してきており、民間のインセンティブツアーも数件確定している。また、連合パッケージ商品や個人旅行商品の販売も好調なことから、送客数の回復が期待される。特に5月は、2機のチャーター便運航が確定し集客中である。

上海(中国本土)

- 空路客は微増したものの、海路客が減少したため、前年同月実績を下回った。
- 4月下旬には上海発の社員旅行、5月の労働節連休には上海―沖縄のチャーター便も造成されており、堅調に推移すると見込まれる。

香港

- 香港エクスプレス航空の定期便が、シーズンオフ期の需要減、景気減速、円高など複合的な要因により伸び悩んだことに加え、前年同月にあった香港発のクルーズ船の寄港がなかったことなどにより、前年同月実績を下回った。
- 景気減速、円高の影響により訪日旅行全体が低調に推移している。4月は前年の航空便数が少なかった反動で倍増するが、5月、6月は前年同月並みで推移する見通しとなっている。